

つかむ

あおる

こする

2019

8/9 fri -
9/21 sat

くらしの造形20

武蔵野美術大学 美術館・図書館
展示室1・2、アトリウム1

たたく

こす

たもつ

手の かたち 手の ちから

休館日：日曜日、祝日 ※8月18日(日)、9月16日(月・祝)は特別開館
10:00-18:00(土曜日、特別開館日は17:00閉館) 入館無料

すくう

かく

しめす

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館
協力：三方石観世音、福井県教育委員会、国立民族学博物館、
国立文楽劇場、電気通信大学、阿波木偶箱まわし保存会、
ヤマト運輸ねぶた実行委員会、ねぶた愛好会
助成：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

WU M&L

はらう

さぐる



青森のねぶた解体風景



テッコウ
陽射しから
手を守るための手袋



オタマ
出汁のカスをすくう



ホムンクルス像
大脳皮質の感覚野と運動野における
身体部位の比率を示す像

シャクシ(杓子)
汁などをすくう



ネパールの刷毛



ネパールのコンパス



レンガゴテ
モルタルを
すくって塗る

大手神社の手形絵馬
(栃木県足利市)



筋電義手
脳からの信号が指先を動かす
(提供: 電気通信大学)



火ばさみ
囲炉裏や火鉢の
熱い炭を持つ



布団たたき
埃をたたき落とす

文楽人形の手

表・三方石観世音の奉納物 写真: 北野 謙
展示制作: 株式会社佐塚商事 奥多摩美術研究所

縁起物の熊手
福を掻き集める



ゴトク(五徳)
火の上にすえ、
鉄瓶などを支える



わら打ちの木槌
細工用にとわらを打ち、
柔らかくする

本展では、人の手の「かたち(形態・姿)」と「ちから(機能・能力)」を主テーマに、二つの大きな造形物群を紹介します。一つは、手足など身体の痛みや病の平癒祈願のために製作された民俗信仰の造形物です。福井県若狭町の三方石観世音に、江戸時代後期から現在まで約200年にわたり奉納し続けられた総数6万点の手足を象った奉納物「お手足」があります。その民俗造形の迫力と魅力に本学調査チームが出会ってから学生や卒業生と共に研究を続け、2017年度からは福井県による本格的な調査が始まり、全貌が明らかになってきました。この成果の一部を紹介し、「お手足」に託された願いを読み解きます。

もう一つは、私たちの身近にある様々な道具です。「道具は手の延長」と言われますが、それはどのような体系を持つのでしょうか。古典的なテーマながら必ずしもうまく整理されていません。本学では、民俗学者の宮本常一(1907-81年)の指導で収集された膨大な民俗資料が収蔵されています。この民俗資料を中心に手と道具の関係を探ります。「つかむ」「たたく」「すくう」などの動作と機能に注目して具体的な道具を抽出することを試み、これらに手の形態や機能がいかに反映されているかを捉え直します。

また、日本の夏祭りを代表する「青森のねぶた」、人形浄瑠璃・文楽などの「人形」の手の表現の美しさとその工夫を探り、人の「手の進化」について哺乳類の骨格標本から確かめ、筋電義手から「手」のあり方の未来を問うコーナーも設けます。

「手のかたち・手のちから」を様々な角度から見直すことで身近な造形の世界から新しい発見ができる機会となれば幸いです。

監修: 武蔵野美術大学 教養文化・学芸員課程研究室教授 神野善治

関連イベント

1. ギャラリートーク(神野善治)

8月17日、24日、31日(全て土曜)
14:00-14:30

9月5日、12日、19日(全て木曜)
12:20-12:50

武蔵野美術大学美術館

2. 対談

手のちから・手の未来

8月17日(土) 15:00-16:00
武蔵野美術大学 美術館ホール
室山哲也(元NHK解説主幹)
神野善治

つくる手・つくられる手

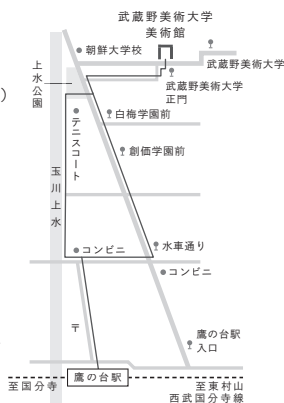
9月14日(土) 15:00-16:00
武蔵野美術大学 美術館ホール
木下直之(静岡県立美術館館長)
神野善治

3. 芸能公演 & トーク

木偶の手のちから

一阿波の三番叟まわしとえびす舞ー
9月12日(木) 16:30-18:00
武蔵野美術大学 美術館ホール
出演: 阿波木偶箱まわし保存会
(辻本一英・中内正子・南公代)

※入場無料、申込不要(先着順)。
直接会場へお越しください。
※内容など詳細が決まり次第、
当館webサイトにてお知らせいたします。



武蔵野美術大学 美術館・図書館

187-8505 東京都小平市小川町1-736
Tel: 042-342-6003
<https://mauml.musabi.ac.jp>

・西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
・国分寺駅北口徒歩3分、
西武バス「武蔵野美術大学」行き
または「小平営業所」行きに乗り、
「武蔵野美術大学正門」下車
(バス所要時間 約20分)
・立川駅北口(5番乗り場)より立川バス
「武蔵野美術大学」行きに乗り、
「武蔵野美術大学」下車
(バス所要時間 約25分)
※お車でのご来館はご遠慮ください。

同時開催

スタシス・エイドリゲヴィチウス:
イメージ記憶の表象
9月2日(月)~11月9日(土)